

ものづくり体験講座で目覚める

7月31・8月1日の2日間で開催された、「ものづくり体験講座～産業デザイン科」が盛況のうちに終了しました。70名に及ぶ中学生たちは、コンピュータデザインや木材加工、陶芸など多彩な分野に挑戦し、創造力を発揮しました。体験後のアンケートでは、「優しく教えてもらった」「楽しかった」「次は〇〇に挑戦したい」など、ものづくりに目覚めた中学生もいたようです。実践的な学びを通じて、モノづくりの魅力を体感する貴重な機会になったなら嬉しいです。鶴工生たちも充実した表情を見せ、多くの学びと成長の機会になったようです。9月28日(日)の体験入学でも、多くの中学生にものづくりの魅力を実感してもらいたいです。

[9月28日\(日\)体験入学のご案内](#)  [ここをクリック](#)



Innovate Together, Build the Future.

8月23日行われたロボット競技大会で、電気部3年生の「新姫九六位4」が見事第3位に入賞し、全国大会出場を決めました。この大会で得た経験は結果以上に価値あるものです。大会に至るまでには様々なドラマがありました。課題が発表されてからは、思うような設計ができず、試行錯誤を繰り返し、製作した後も改良を重ね、正確さと速さを両立する操作技術とチームワークを磨きました。本番では、独特の緊張感の中でいかに平常心を保つかが試されました。選手たちは、この夏を通して技術面に加え、精神的にも大きく成長しました。全国大会での活躍と、この経験を次の世代へと繋ぐことを期待しています。



ワクワクする化学実験が大盛況！

8月3日に大分大学STEAM夏祭り、8月23日にはおおいたサイエンスパークが開催され、化学工学科の3年生が小学生に化学実験の面白さを伝えました。大分大学では、化学の力を使ってグミ作りに挑戦。子どもたちは目を輝かせながら、メスリンダーやピペットを使って材料や水を正確に測り、かき混ぜる作業に集中しました。オリジナルのグミが完成すると、笑顔がはじけました。サイエンスパークでは、過冷却の実験とグミ作りの2部構成で、化学の世界を体験してもらいました。化学工学科の出前実験は、リピーターの子どもがいるほど大人気。子どもたちの好奇心を刺激する生徒たちの活躍は、本当に素晴らしいです。



伝統の鶴崎踊を舞う

8月23日夜に開催された本場鶴崎踊大会で、チーム鶴工が伝統の踊りを優雅に楽しく披露し、観客を魅了しました！鶴崎公園グラウンドの会場は、審査員の視線や暑さもあり、参加者はへとへとになりましたが、踊り終えた後の充実感は格別でした。鶴工サポーターの会のおかげで、一人も体調を崩すことなく、大会を終えることができました。踊りのご指導を頂いた師匠さん、鶴の被り物を制作した網中先生、着付けやメイクをして頂いたサポーターの会の皆様、多くの方々に支えられたことに心から感謝します。来年はチーム鶴工で会場を埋め尽くします！

[大分合同新聞の記事へ](#)  [ここをクリック](#)